



湯本の探湯斜坑 来る廿日頃起工式

延長二百七十間で着湯豫定 結果は明年九月中旬頃

石城郡湯本町に於ける探湯計 是は既報の如く愈よ来る二十 日頃神祇の修祓儀に起工式 を舉行の筈である開坑口は同 町勝行院の裏山で延長二百七 十間の斜坑を以て探る着湯點 は南東に進む恰度町内三箇地 内徳善寺附近の地下五、六百 尺の豫定で同地點に達する工 程は約二百七十日であるから 明年九月中旬頃の結果を見ら

喧嘩は兩成敗で 民政派に漁夫の利

草野村々長争奪戦の結末 意外芳賀辨之助氏當選

石城郡草野村が来る十九日 満期する村長の改選に現村長 邊繁彌氏の昇格派に猛烈な争 奪戦を演じてゐることは既報 の如く去る八日改選村會の流 動を見ても昨日十日愈々決戦 投票を行つた結果は意外にも 芳賀辨之助氏が八割四を 以て當選する所となつた右に 現村會中の民政派三議員にキ ャスチングされたものゝ如く 對策を以て睨み合つた助役昇 格派の棟梁邊繁彌氏の最後 的戦術を以て番狂はせを見ら るものと云はれてゐる村長再 選派に於ては昨日十日正午の開 票を見るまで助役派から一名

品評會 倭米と蔬菜の

石城郡江名町農會主催の農産 物品評會は来る十九、六兩日 一神白分校に於て開催される が同町水崎及び神白兩部落は 漁業家に供給する栽培で蔬菜 類に優良なものも多く審査は青 山郡農技師一審であるが尚ほ 當日神白農會に依米品評會も 行はれる筈で出品三百俵の審 査は松本半穀検査所長の由

刊日 日二十月二十年十和昭
第一冊月三年五和昭
可圖物便郵三第

座講識

ノクトイジョンとは 暗視、暗闇で物を見る ことだ。今各國で盛ん に研究されてゐると云 ふのが完成した大し たもの、夜景畫の類を ノクタンと云ひ望み をウイツシユと云ふ

小川江の改修工事 總額廿八萬三千圓

地元寄付六萬五千五百圓は 十年度から三回に公債

石城郡小川江筋組合では改良 の出費地元寄附に係るものを 工事施行變更に伴ふ財政計畫 組合債にまつ事になつた同金 に關して昨日臨時總會を開 催して昨年度から九年度に 備へたる八年度から九年度に 於て施行された工費十萬八千 七百圓(八年度)六萬〇〇〇圓 九年度五〇六九〇圓及び七四〇 〇圓)に繼續する施行額を左 記に決し合計廿八萬三千圓は 以前の計廿九萬七千六百圓 より一萬七千三百圓を減額と 四(以上)

郵便年金の寫眞と 標語の懸賞募集

締切は寫眞明年一月十日 標語は今年十二月卅一日

仙遊保険課及び簡易保険局と しての幸福を願ふこと之れに處す るの即ち我國唯一の郵便 年金制度である云ふ點を簡 明に力強く表現したるもので あることは云ふ迄もないと 寫眞は周知ボスターに適當 なもの、標語は印刷カビ 版以上(菊全紙に引伸す に適當な未発表のもの)作

湯本愛湯會の 役員決定

八日の理事會で 石城郡湯本の愛湯會に於ける 總會は會報の如く別項所報 の計畫等に關して協議の後役 員の全改選を幹部に一任され てゐるが去る八日理事會を開 いて新役員を左記の如く決定 した

會長 川崎善彌 理事長 長谷川 孝平 理事 渡邊長彌 理事 外八名 會計 鈴木康中 外六名 顧問 吉田宗雄 石川徳壽 評議 員 比佐芳外七名

名譽の軍人が 寺院荒し

白河、若松、内郷 四倉、久の濱にて 西白河郡信天村の増見生れ當 時住所不定無職大猛夫(三三) は勳八等瑞寶章に從軍記章を 有つ名譽ある軍人であり乍ら 去る四月中居村大字新上地内 馬頭觀音堂に忍び入り青銅 製の鈴一個三圓を窃取したる を手初めに若松方面を荒して 石城郡に流れ内郷、四倉等の 寺院に忍んで二十餘圓を盗ん だ外高坂坑では拾得物を横領 し尚ほ双葉郡久の濱方面をも 荒してゐること平署に發覺捜 査中のところ去る九日内郷村 高坑地内を徘徊中檢査目下取 調中である

逃走と合點し 袋たさき

食肉商の仲間喧嘩 會長 川崎善彌 理事長 長谷川 孝平 理事 渡邊長彌 理事 外八名 會計 鈴木康中 外六名 顧問 吉田宗雄 石川徳壽 評議 員 比佐芳外七名

縣農試石城分場 平年より好成績

縣農試石城分場の稲作成績は 凶作を周旋する中に非常な成 績で早中晩種の反當平均二石 來であり、將に忠烈を揚ぐる 千載一遇の好成績であつた。

吉野朝臣廣橋經泰が常輿 海道經略の本據(勿來學人)

經年正月、建武と改め、中 憂に警ふるにもなく、天皇 興の政を布き給うが果せる 新田義貞等に勅して鎌倉を討 ちたしめ、又顯家將軍と宗廣に 會の北條偕第に駐つて叛した は該の後ろ攻めを仰せられた 十一月、朝廷は顯家卿を鎮守 將軍になされ、既に京師の祀 が初めて西上、入援すべき到

正面衝突 貨物と貨切の

小名濱町の横町三一自動車運 轉手板木縣那須野町八八生れ 笠井勝三郎は去る七日午後一 時頃江名町大字永崎字馬落前 道路を貨切車運轉の途上江名 町中の作貨物自動車吉田金 司方のトラックが突然瓦斯倫 タンク下方ランリグから發 火し停車消火に努めて鎮火後 發車に當り同車の前方バンパ ーに折損あるを發見した助手 吉田幸好(二七)が應急處置して ゐる處へ前方から疾走して來 た前記貨切車を激突するの左 大體部外數ヶ所に全治一ヶ月 の打撲傷を負はしめて平署の 取調中

大歡記 滿海莊

文帝は早速此菊を植へまし て彭祖の言つた如く毎朝其露 を手に受けて飲みました處が さしに弱かつたおならだも だん／＼お丈夫におならにな り十五歳迄はむつかしからう と云はれた御壽命も御延長な されて遂に七十歳迄御長命遊 ばされたと云ふ事でありませ ンこれ等の事どもを思ひ合せま して季節としては時おくれで 且つ聊か月並臭味を帯びては 居りますが衷心の歡喜つゝみ 難くこゝに發表いたしました よろこびは千代も祈れ菊 かさね 軍のついでに川柳を一句申上 げます 大歡喜日本中がうづをまき 十寸 雙

三箱の湯本 城趾に就て

(5) 吉野朝臣廣橋經泰が常輿 海道經略の本據(勿來學人)

婦人の軍都見學

平町の國防婦人會員二十八名 谷がボケットに現金のは入つ てゐるオーパーを鈴木に渡し

跡抄

新史 三箱の湯本 城趾に就て

吉野朝臣廣橋經泰が常輿 海道經略の本據(勿來學人)

婦人の軍都見學

跡抄

新史

三箱の湯本 城趾に就て

吉野朝臣廣橋經泰が常輿 海道經略の本據(勿來學人)

婦人の軍都見學

跡抄

新史

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 平町 田町
用命は 三三三三

冬のサロンの
暖房設備が出来ました
暖かいミルク(牛乳) 十錢
御飲物リフトン紅茶 十錢
お菓子 十五錢
御家庭の延長として
是非御利用下さいませ
平・田町・電352

食事、喫茶、酒場を兼ねた

産科 婦人科 院長 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩俊雄
平町新川町九一
入院隨意 木村病院
病室完備 電話一六四番

冬の流行洋品御案内
新柄シヨール豊富陳列
ソフト帽とネクタイ多数取揃
優良毛布とパンヤ枕豊富
毛織新型子服とケーブマント
にヤルツ
〇四一電 四平

◇一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部



開院 五十嵐 婦人科醫院
醫學博士 五十嵐雄二
入院請應 平町新川町一七
電話三七〇番

歯科 一般
保存科、補綴科、歯肉工科、
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿瘍科、
レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野 憲次
醫學士 西川 誠
平町田町松月堂向ひ 電話五〇九番



アスリはホシ

結核予防週間
肺及び呼吸器疾患
肺結核の根本に先づ必ず治
る。「肺結核」予防の第一は「肺

結核の疑ある人よ!
肺結核の疑ある人よ!
肺結核の疑ある人よ!
肺結核の疑ある人よ!

結核の疑ある人よ!
肺結核の疑ある人よ!
肺結核の疑ある人よ!

結核の疑ある人よ!
肺結核の疑ある人よ!
肺結核の疑ある人よ!

結核恐るゝに足らず!!
「不治の病」とは一掃の迷妄!!

1.50
1.50
3.00
5.00

結核に!
ホシ
アスリはホシ

星製薬株式会社 平支店 目丁三町平 (番九二四話電)